

# 協力隊活動記 ~VOL.20~



協力隊  
フェイスブック  
更新中

## 「地域おこし協力隊」と定住率

みなさんこんにちは、地域おこし協力隊の米川です！

さて、3年目の任期も数か月が過ぎ、あっという間に卒業を迎えるのだろうか日々感じています。和水平での生活もなじんできたところですが、今回は趣向を変えて制度や定住率について、改めてお話ししたいと思います。

この「地域おこし協力隊」という制度、実は総務省が行っています。簡単に言うと、過疎化が進む地方（和水平）へ外部（町外）から人材を呼び、最長3年の任期の間に地域おこし（まちづくり）を住民と一緒にしてもらおう！という制度です。任期後は、その地域に定住し3年の活動業務を活かし起業なり就業することが求められます。

総務省の統計によると、今は全国で約5,000人の協力隊がいるとか。熊本県内だけだと約120人だそうです。具体的な業務内容や人数は各自治体に委ねられています。それからこんなデータも。昨年度の調査によると、任期後約6割の隊員がその地域もしくは近隣市町村に定住しています。

では和水平の場合は？実は、定住率はとっても

## ～米川 博子さん（鷺原）～

高いんです。3年の任期を全うした隊員の和水平内への定住率は8割。

もちろん、5年後10年後どうなっているのか考える必要はありますが、少なくとも卒業時は「住み続けたいまち」なのではないでしょうか。

紙面の都合上、ここまでとなりますが統計やデータで見る制度もちょっと面白いものがあります。まだまだいろいろありますので、気になる方はいつでもお尋ねください！



なごみんと松下隊員と3ショット！  
グリコポーズはやっぱりなごみんが一番上手ですね！

問い合わせ先 本庁 まちづくり推進課 地域振興係 ☎0968・86・5721

## 始めてみよう！「お茶の間筋トレ」～vol.10～

### 「調整の体操」

調整の体操は、筋肉深層部から骨を動かすことで体の歪みやくせを正しくしていく体操のことで、A)肩甲骨 B)背骨 C)受け身 D)骨盤の4つに分かれます。

今月はC)受け身を紹介します。

※転倒した時に、頭部を打たないため、また骨折を防ぐために、腕でしっかり支え、肘が曲がりやすいように、「ハ」の字をつくるように両手を着きます。  
※「」は、声を出しながら（呼吸を吐きながら）動きます。

①長座で手を着き、体重をかけて床を押し、身体を戻します。

「かけて、押して、戻す」

※手を着くところは①右横→②左横→③右斜め前→④左斜め後→⑤左斜め前→⑥右斜め後です



1



2



3



4



5



6

未来に向かって輝け！

# わが町のがんばる企業！

～和水平企業等懇話会 企業訪問～

わが町の  
企業の魅力を  
私がお届けします！



まちづくり推進課  
担当 嶋田真希

## 有限会社「榮真」

(和水平高野)

和水平企業等懇話会は、町内企業の繁栄と町の振興を目指すことを目的として設立し、現在23社の会員企業でさまざまな交流活動を行っています。今回は、会員企業の有限会社榮真を訪問しました！



①工場の外観 ②金型の設計作業の様子。顧客からのオーダーに応じたさまざまな金型が設計されている。③金型の製造やメンテナンスの現場 ④製造された金型 ⑤プレス加工作業の様子。金型を取り付けて金属部品へと加工する。⑥さまざまな工程を経て完成した乗用車刈り機の部品



有限会社榮真  
熊本県玉名郡和水平高野945番地  
☎0968-86-2133

## 和水平高野の地で創業31年 金型の設計から製造まで一貫生産

有限会社榮真は、菊水東小学校にほど近い、和水平高野にあり、工業製品の金型の設計や部品の製造を行う企業です。昭和62年にこの地で創業を開始し、今年で31年目を迎えます。「金型」とは、部品の製造過程において金属の板に圧力をかけて部品形状を抜いた型、曲げたりするために必要な「金属の型」のことで、一度、金型を用意してしまえば、同じ形状の部品を大量に生産することが可能です。こちらの工場では、乗用車刈り機・除雪機・バイクの部品、更にはカーポート用部品など、多種多様な部品が製造され、大手メーカー等へ出荷されています。「お客さまからのニーズへの迅速な対応や品質管理の徹底を心がけています。納品の際にお客さまからいただく感謝や労いの言葉が一番の励みになります」と笑顔で話す生産課課長の齊木智寛さん。設計から製造までを自社で行う「一貫生産」が当社の特徴で、これまでに培った経験と技術が随所に活かされています。

## モノづくりの楽しさを 若い世代にも伝えたい！

齊木さんの案内で工場内に足を踏み入れると、そこには設計された「金型」が組み込まれた大型機械が設置されています。製品の形状を抜いたり、パイプ状の金属を曲げたりと、スタッフの皆さんが手際よく機械を操作しながら、一連の作業が進んでいます。そして、この金型の設計を担当するのが金型課の福山数隆さんです。「金型の設計は、作業工程や生産コストに影響するので難しい作業にはなりますが、円滑に工程が進むよう全体の設計を考える時間はとても楽しいです」と設計の醍醐味を熱く語る福山さん。また、「若い世代の人材確保や技術の継承は今後の重要なテーマになっています。モノづくりの楽しさや喜びと一緒に味わいながら会社を成長させてくれる、若い力を募集しています」と今後へ向けての意気込みを語る齊木さん。将来へ向かって、製造業の現場を支える有限会社「榮真」の今後ますますのご活躍を期待します。  
(文責) まちづくり推進課 嶋田

## ～きらり★輝くなごみびと～



有限会社榮真

生産課 課長 さい き 齊木 智寛さん (写真左)  
金型課 設計 ふくやま 福山 数隆さん (写真右)